

(様式1)

自己評価票

作成日 平成29年1月4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891600041		
法人名	社会福祉法人 木犀会		
事業所名	花水木	ユニット名	すみれ
所在地	〒309-1717 茨城県笠間市旭町629-4		
自己評価作成日	平成28年8月1日	評価結果 市町村受理日	平成29年3月31日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=truelink&JigyosyoCd=0891600041-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年9月29日	評価機関 決 済 日	平成29年1月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域の一員として、自宅で過ごすのと同じような雰囲気の中で一人一人が笑いながら生活できる場として支援させていただいています。又、ターミナルケアでは、ご利用者様・ご家族様の思いに添って、安らかな最期を迎えられるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は栗畑に面しているほか、コンビニエンスストアの裏側に位置していることから、利用者は買い物兼ねて散歩に出かけるのが楽しみとなっている。
利用者は職員と一緒に近隣の田植えや稲刈りに参加したり、保育園児や小学校の児童クラブの生徒、歌やフラダンスなど様々な来訪者があり、地域との交流を盛んに行っている。
職員は常に利用者との関わりを大切に考えて笑顔で接し、職員同士のチームワークも優れていることから、家族等とも活発に意見交換をして運営に反映している。
協力医療機関と24時間連携体制がとれて看取り介護をしていることは、利用者や家族等の安心につながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員と理念を考え作成し住み慣れた地域の中でつながりを大切に又、1人ひとりの思いを大事に見直しをしながら実践につなげられるようにしている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	回覧板回しや、地区の行事への参加をし、地域の方に顔を覚えていただけるよう努めている。又、近隣の方より頂き物等、受け利用者様も嬉しそうなお笑みが見られているので、継続をしながらも絆を深めていきたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩や買い物、地域の敬老会などで地域の人々との交流をしている。区の行事に参加。地域の方と会話や活動の中で認知症への理解を得るように努力をしている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を行事を兼ねて見ていただいたり、家族会の無記名アンケートの報告、利用状況、行事報告、現状報告、今後の課題、問題点について意見を賜りアドバイスをうけ実践している。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当課や地域包括支援センターを訪問したり、電話をしたりと、運営推進会議以外でも気軽に相談できる関係を築いている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	昼間は玄関を施錠せず空気の入替えなど部屋やリビングルームの窓もあけ安全面に配慮しながら自由な暮らしを支援している。マニュアルを作成するとともに全職員が理解し実践に取り組んでいる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修や内部の研修を行ったりマニュアルを作成し、言葉・行動の虐待について注意をはらって観察し職員同士が声をかけあっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	花水木としても内部研修として年間予定の中に取り組みでいく予定にしている。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学等でも、おおまかな説明をさせていただき、その都度、疑問や質問等に応じている。契約時には、更に細かく、書類に目を通しながら一項目ずつ説明し、金銭面・医療連携面・サービス提供等、ご家族から理解を得られた上で交わっています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会にて無記名アンケートを実施し、その結果も報告しています。又、各ユニットごとに意見箱を設置し、利用者様やご家族様の意見や要望をくみ上げていくと共に、運営推進会議で話しを出し運営に反映させるようにする。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティングや会議その他個別にての意見提案を聞く機会を設けている。自ら職員が考え前向きに提案できるように又、全員で作った理念を共有できるように改善すべき点について話しあっている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を行い努力や実績、勤務状況を把握し、やりがいや各自が向上心を持って働けるように職場環境に努めている。職員の疲労ストレスに気を配り勤務時間内で気分転換できる休憩室を確保し人間関係を把握するようにしている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として年間通して各研修をし実績、結果報告を提出している。(管理者研修、主任研修、新人研修、全員のタッフの研修、その他)
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	系列の施設・事業所との連携は勿論の事、情報を共有する事でサービスの質の向上に繋げる。又、他施設・事業所とも営業活動を通し入居状況等を互いに把握し関係を密にしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	言葉かけに寄り添いながら生活をさせていただくことで不安を解消し要望などを把握しそれに対応できるようにしています。又、他の利用者様との関係作りの為、職員が間に入り一緒にレクリエーションや日常の作業をしながら橋渡しをしている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にサービスの内容を詳しく説明し家族の苦労や不安要望に耳を傾けながら又、実際にみていただくことをしながら利用されることでひろがっていく可能性を前向きにお話している。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様のご自宅での様子などを傾聴し本人やご家族様の思い状況を確認し、よりよい支援の提案など話し合いながら信頼関係を築き必要なサービスに繋げるようにしている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は日常生活の中で体験したことなどを教えていただいたりしながら、退屈しない工夫や声掛けに配慮している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度は広報誌とともに日常の暮らしぶりをご家族様へ送っている。疎遠となっているご家族もそれにより現在のその人の暮らしぶりの情報が得られている。個人の生活写真なども送っている。ご家族からの電話や行事への参加が増えている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の機会を設けて馴染みの場所に行っている。又、現役時代の部下、友人、近所の方が会いに着ていただいたりしている。家族には事前に許可を得ている。又電話や手紙の支援などを行っている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に話を聞いたり相談に乗ったり他、利用者様と楽しく過し時間やユニットを行ったりきたりして気の合う同志が過せる時間をつくり円滑になるように調整役として支援している。又、利用者様同士の居室の行き来も自由に行っています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設への移動では、その後の様子等を伺いに足を運び、生活の様子や不安な事・体調等について傾聴しています。契約を終了された方のご家族へも不安な事や困っている事等をお聞きし、気持ちを楽にさせていただけるよう配慮している。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人との会話の中で希望、意向等の把握が出来る様努めている。意思疎通が困難な方は表情や顔色等で判断できるよう、ご本人の観察をしている。又ご家族様や親戚の方・友人の方の面会時に重要な情報がえられるよう努めている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査では、可能な限りご本人の馴染みの場所まで足を運び、そこから得られる情報を大切にしている。又、馴染みの物も可能な限り側に置ける環境にしている。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方、心身状態についてはケース記録にて把握できるように記録し特に特変事項を中心に申し送りをしている。季節や入院、退院などにより状況の変化があるため、その都度把握するようにしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス・モニタリングを実施し計画作成担当者が中心となり利用者様やご家族様などの思いや職員の気付きを昼礼で話し合い、時には変更事項を介護計画に反映している。介護計画は家族などの確認を得ている。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの課題サービス内容実施時のご本人反応を中心に記録しケア側の気付きも記録している。特変事項は申し送りしケアプランへ反映している。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族様の希望する病院へ受診。ご家族様にも可能な限り付き添いの協力を依頼している。その他、個人の希望で買い物と一緒に言ったりしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方達と行事の中で歌や踊りを一緒におこない、買い物や外出も回数を増やし地域の方達との交流を心がけています。室内では食器拭き、洗濯たたみ、部屋の掃除など残存機能を活かし意欲的な雰囲気の中、楽しく生活を送るように支援している。外では洗濯干し、玄関の外での履き掃除、回覧回しも一緒に行っている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	専門(眼科・皮膚科・歯医者・耳鼻科・神経内科等)の病院受診は、通われていた所やご本人(またはご家族様)が望む病院へ受診している。又、提携している病院の往診と訪問看護ステーションによる定期訪問の連携体制を密にし、利用者様の健康管理に努めている。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診の医師や訪問看護の看護師に連絡し、早期発見や迅速な対応を心がけている。同時に、管理者・ケアマネージャー・家族に報告・相談をし遅れがないように努めている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様が入院時の洗濯や物品補充が難しい時は、職員が代行し定期的に行っている。又、ご家族が実施している時でも、お見舞いに伺い、担当の看護師の方に直接状況を聞いたりしています。病院側との連絡を密にし、退院後に本人・ご家族様が不安にならないよう努めています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様に、重度化や看取りの対応指針を契約時に説明すると共に同意を得ているが、ご家族によっては迷われる方もいる為、体調の変化に応じて、その都度、確認・説明を実施している。職員の看取りに対する思いや不安に思う事を含め、内部研修を実施。ターミナルケアを終えた後も、振り返る事で次に繋げられるようにしている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命法の更新(講習の参加)を推進し、外部研修にも参加するようにしている。内部研修のひとつとして年度計画の中に取り入れる事で意識の低下を防ぐようにしていく。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の消防署立会いの避難訓練を実施。近隣の方への参加依頼にて少人数ではあるが参加協力を得られた。災害に対しては、必要な物品や食料の確保をしている。又、地区の消防団との避難訓練を予定としている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の声かけも個人を尊重し、言葉使いに配慮し、ご家族様の希望に合わせて、利用者様が聞き慣れた呼び方で対応している。トイレ誘導や失禁時の声かけは誇りを損ねないように注意しているほか、ポータブルトイレは一目につかないように布をかぶせるなどの配慮をしている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望に応じて外出支援・外食の支援を行っている。本人の訴えを優しく受け止め無理強いしないように混乱しないように答えやすく選ぶことができるように支援している。利用者が外へいきたい時は職員と一緒に歩いて付き添っている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースにあわせて家事支援や外出支援を柔軟におこなっている。その日の体調や気分を配慮しその時の利用者の気持ちや尊重し無理のない内容で対応している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日中でも本人の意思にて着替えなどを行っている。自己決定がしにくい利用者様には、簡潔に説明ししながら選びやすくなるような支援を心掛けている。行事の時には女性の方にお化粧をしてさしあげたりと職員がお手伝いしている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で収穫した野菜を使用し、季節感や家庭らしさが味わえるようなメニューの提供を心掛けています。又、調理の際も、利用者様を交えて実施しています。季節の食材が届いた際は、利用者様とどのような料理にして食べるか話をしながら献立の中に取り入れています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	副菜が多いときはご飯は少し減らしています。途中、間食のあった方は3食で調節するようにしています。水分制限のある方は目安表を作成し、管理しながら摂取していただいています。利用者様の身体機能に応じて、刻み食やミキサー食、栄養補助食品などの提供をしています。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食の口腔ケアの実施とポリデントによる義歯の洗浄を実施し、残存歯の維持を推進している。利用者様に合わせて、歯間ブラシや歯磨きティッシュの使用もしています。又、口腔ケアの重要性を職員にも理解していただけるよう歯科医院の協力の元、内部研修を予定としている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を参考に排泄パターンを理解し、利用者様のサインに気付くようにしている。又、トイレの訴えのない利用者様でも排泄を促し気持ちよく排泄できるように支援している。布パンツに戻せるよう努めている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を参考に排泄パターン、利用者様のサインに気付き又、トイレの訴えのない利用者でも排泄を促し、気持ちよく排泄できるように支援している。排便が出ない日が続く時はヨーグルト・オリゴ糖・バナナなどの食品で対応したり、腹部マッサージ等で自然排便が出来るよう一人ひとりの状況に応じて支援しています。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回～入浴できるようチェック表で管理しているが、体調や状況に応じて柔軟な対応を心掛けている。又、入浴剤や菖蒲湯・柚子湯のお風呂や、入浴以外の日の清拭や冬場の足浴を実施し、清潔保持に努めている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの意向を確認しながら利用者様の状態にあわせて休まれる環境を整え休息したりしていただけるようにしています。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各居室担当による服薬状況の確認や薬のジョイントのチェックを行っています。職員で薬に関して分からない事があった際は作用や薬品名などの把握が出来るよう調べたりし薬の変化にも理解したうえでの確認に努めている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑での野菜作りや調理食器の片付け、洗濯物たたみ、毎日のリハビリ体操などの利用者様一人ひとりに合った楽しみや自信のもてる役割の支援をしている。役割の終了後には必ず感謝の言葉を伝えている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望で個別に買い物、コンビニエンスストアでのお茶飲みや職員により個別散歩支援、天気の良い日には事業所ないの長いすに座ったりしてくつろいでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>貴重品は管理者が保管していますが、保管場所は利用者様にお伝えし、不安にならないよう(安心していただけるよう日頃から信頼関係を築いていくようにしている)に支援しています。外出先で支払う際には、お財布をご本人にお渡し直接支払いもしていただいています。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の申し出によりホームの電話を使い知人への連絡をしている。又年賀状などご本人に書いていただいたりしている。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間は少し狭いが段差も無く、事務所を通りユニットからユニットへ自由に行き来ができ、職員・利用者様と会話が弾んでいる。リビングから四季の景色も見え、自然を感じられているようです。プランターの花や畑での野菜作り・季節に応じた室内のレイアウトなど暮らしに季節感を取り入れるよう努めています。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングルームの他、玄関先にベンチがある為、自由に行き来していただいております。気の合う利用者様同士で互いの居室へ招き、思い思いに過ごしていただいております。又、一人の時間が阻害されないよう職員は配慮しています。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活用品の持ち込み制限はせず、利用者様とご家族様とで相談しながら居室作りをしていただいております。テレビ・家具・仏壇などを持ち込むと共にアニマルセラピーやぬいぐるみ等で心を癒していただいております。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビングルーム・廊下をはじめ、手すりを随時設置。一人ひとりの身体機能に合わせてベット・ポータブルトイレ・家具類を設置し自立した生活がおくれるように工夫している。リハビリが必要な方は簡単な方法ではあが、リハビリを個別でおこない自立に向けて安全で事故の少ない生活環境の構築に努めています。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない